

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 80 号	氏名	柴田 理也子
学位審査委員	主 査	相川 忠臣	
	副 査	澄川 耕二	
	副 査	江石 清行	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、アンギオテンシン変換酵素阻害薬（ACEI）が発作性心房細動（PAF）患者における心房筋の構造的及び電気生理学的リモデリングの予防に効果があることを長期連用の ACEI 服用 PAF 患者の臨床電気生理学的検査（EPS）で明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ACEI 内服下に EPS を施行した PAF 患者と、ACEI 非内服下に EPS 施行した PAF 患者で、洞調律時右房内マッピング法と右房期外刺激法にて異常心房電位と右房有効不応期、心房間伝導遅延等を比較解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、異常心房電位の棘波数、電位幅ともに右房高位において、ACEI 内服群で有意に低値を示した。初めて PAF 患者の ACEI 服用は、右房の電気生理学的変化を改善することを明らかにしており、抗不整脈薬とは違う構造学的機序で PAF の有効な治療となることが期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は不整脈の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			